
逃走中

秋元愛羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中

【Nコード】

N1622N

【作者名】

秋元愛羅

【あらすじ】

篠原リコ、15歳と4ヶ月。私は今.....

..... 逃走中です。

篠原リコ、15歳と4カ月。私は今……逃走
中です。

「わあ~~~~~~~~~!!!!!!」

ええ、私は逃げてるんです。

逃走中って言っているほどですから。

犬とか狼とかではありません。もちろんここは現代なのでズンペと
かでもありません。

何に、いや誰に逃げているのかと言いますとそれは……

……

「逃げんな、ポケエ~~~~~」

私の大事な友人A、B、Cです。

……別に本当にA、B、Cって言う名前ではありません
からね。

追われている理由は2時間前。
でもその事の発端は2年も前なので順に話してゆきましょう。

それはそれは2年前の夏。

私は同じクラスの男子に恋をしました。ええ、一目惚れではありませんが初恋です。

なので男子と話さない私ですが頑張りました。それはそれは。

ですが彼には好きな人がいました。

これを聞いたらあなたはどうしますか？

私は好きとも言えずそつと身を引きました。これが新学期始まる前です。

3年の最後のクラスは彼とは思いつきり離れこのまま儚い初恋だったと完結するのだと思ってました

.....そう半日前までは。

く半日前く

「リコ~~~~航貴くん到手紙出したから」

あ、忘れてました。高崎航貴っていう名前です。
もちろん私の周りの友人たちは知っています。
もちろん彼に好きな人がいることも。

「なんで私に言うの？」

「そりゃ、リコの名でラブレター書いたから」

一瞬、は？って成りました。あなたもなりますよね。
いきなりあなたの名前でラブレター書きましたって言われたら。
しかも.....

「今日の帰り理科室で待ってもらってから告白しておいで」

なんて軽く言うもんだから何がつて思いました。
それから私は逃げようと必死だったんだけど失敗。
航貴君いないでって祈るも先に来ている。

まあ、優しい彼のことだから来るだろうなって内心思ってた。
で、理科室前でひともんちゃくあり逃げています。

だけど荷物を教室に忘れたから帰れないんですよ。

なので私の作戦はこう。

明日朝早く航貴君に詫びを言い終わり。

そのため後30分逃げなければ

「はあ、はあ」

現在駐輪場。ここは壁で地面が見にくいところなので隠れるのにつてつけ。

もうすぐ受験かあ。勉強しないとなあ。

「卒業したくないなあ」

はい?!

な、ななななななんで?!

だってだつてり、理科室にいるはずですよ、航貴君。

「理科室から見えたから」

ああ、そう言えばここの上理科室でしたね。
当たり前と言えば当たり前か。

「で本題に入っでいい?」

本題つと言いますとやっぱり.....

「何か言いたいことでも有ったの?リコちゃん」

「うううううん。これはね」

「ラブレターだったら嬉しいな」

へっ?今なんていいました?

ラブレターダッタラウレシイナ

ラブレターダッタラ.....

き、期待しちゃいますよ？って乙女な部分がでたり。

大丈夫、断ることできる。だってずっとそうして来たから。

「あのね、」

「僕ね、リコちゃんのこと好きだよ」

..... はい？

本日二度目の理解不能が。

てかその言葉はどっちの「もちろん女の子としての好きだよ」.....

..... さようですか。

ん？はへ？

「はい？！？！？！？！？！？！？！？」

「相変わらず面白いね」

いえいえ、面白いとかではなくて。
言ってること分かってますよね……………？

「リコちゃんの友人からさあ、はっぱかけられちゃって。だから言うことにしたんだ」

そう言っ^てギュッと手を握られた。

「僕はリコちゃんのこと好きです」

「わ、私も」

……………大好きです。

逃走して着いたのは彼の場所でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1622n/>

逃走中

2010年10月9日00時23分発行